

# Y・A BOOKS



～ 今年度入った本の中から 1 ～

No.28 (2016.2)

## ◆<刑務所>で盲導犬を育てる

生き直すきっかけに

(刑務所で盲導犬を育てる  
大塚敦子 著)



大塚敦子/著 岩波書店 2015.2 テコJ326-オオ 1110996920

盲導犬になるためには子犬の頃の経験がとても重要とされています。その大切な10ヶ月を、受刑者に社会復帰訓練として委ねるプログラムが島根の刑務所で導入されました。命あるものを世話し、その中で人と係わり、社会に貢献しているという経験をすることで、自分や他人を尊重できるようになっていく姿が丁寧に記録されています。



## ◆過ぎ去りし王国の城

「友達なんだから」こそ

宮部みゆき/著 KADOKAWA 2015.4 テコ913.6-ミヤ 1111030970

つい拾ってしまったヨーロッパ風の古城の絵。そこに分身を書き込むと、絵の世界の中に入り込めることに気付いて…。秘密を共有し絵の正体を探るのは、中学3年の平凡だけど不満もない真と、辛い現状を変えたい珠美とバクさん。果たして古城の中の少女は救われるのか？そしてその結果、現実の世界も変わってしまうのか？

## ◆ドコカ行き難民ボート。

難民問題を考える



シモン・ストランゲル/著 枇谷玲子/訳 汐文社 2015.3 テコJ949-スト 1111020919

ノルウェーの15歳の少女エミーリエが、家族で出かけたスペインのグラン・カナリア島の浜辺で、海から救い出した少年は、ボートで命からがらガーナから渡ってきた難民だった…。そして、たとえヨーロッパ大陸に渡れたとしても…。その後の彼らの再会を描いた『地球から子どもたちが消える』(2015.3)も、併せて読んでみてください。



## ◆うたうとは小さいのちひろいあげ

短歌は心の格闘技？

村上しいこ/著 講談社 2015.5 テコ913.6-ムラ 1111044868

いじめが元で引きこもる親友・綾美と、その負い目から高校では友達を作らないと宣言した桃子。しかし、思いがけず「うた(短歌)部」に入部し、個性的な先輩や仲間達と短歌甲子園に挑むことに…。詠うことで二人は少しずつ変わっていきます。タイトルは桃子が思いを込めて詠んだ上の句。綾美はどんな下の句で答えたのでしょうか？

## ◆春や春

17文字のバトル



森谷明子/著 光文社 2015.5 テコ913.6-モリ 1111043904

俳句好きな女子高生の茜は、趣味を理解してくれる友人ができたことから、「俳句甲子園」を目指して俳句同好会を設立するが、出場に必要な人数は5人。ようやく集まったメンバーは、俳句未経験ながらもそれぞれ特技を持っていて…。ともに成長していく爽やかな青春物語。作句と鑑賞の対戦を通じて、俳句への理解も深まります。



## ◆大人になるっておもしろい？ (岩波ジュニア新書)

青春の羅針盤

清水真砂子/著 岩波書店 2015.4 テコJ159-シミ 1111034324

自分らしさを求めながらも周囲の人と違わないことに気を使う若者たち。自分を信じ切れず、未来に希望を描くのも難しい。でも焦らないで。「カワイイ」を疑おう、一人でいてもいいんだよ…。怒りや悩み、矛盾等を抱えながらも、現在を丁寧に生きてほしいと児童文学者・翻訳家の著者は13通の手紙で語りかけます。ブック+αのリスト付き。

## ◆マザーランドの月 (SUPERIYA)

もし、あの時、何かが違っていたら…



サリー・ガードナー/著 三辺律子/訳 小学館 2015.5 テコ J933-カト 1111046684  
近未来小説のようで、実はもしかしたらありえたかもしれない1956年の世界。自由主義諸国を威圧するための有人月面着陸計画の秘密を知ってしまったスタンデッシュは…。残酷な独裁国家で生きる難読症でオッド・アイのスタンデッシュと親友ヘクターの悲しくも美しい物語です。23か国語で翻訳、文学賞も多数受賞の歴史改編SF。



## ◆よのなかを変える技術 14歳からのソーシャルデザイン入門

中・高生でもできます!

(14歳の世渡り術) 今一生/著 河出書房新社 2015.4 テコ J360-ゴン 1111028560

「こんなよのなかで、いいんだろうか?」と思ったことはありませんか?ガマンできない「よのなかの仕組み」を自覚したら「自分以外の誰かも同じように苦しんでいるのかも」と想像してみよう。それこそが、よのなかを変える第一歩。たくさん事例とともに、社会的課題解決のための当事者への寄り添い方や活動の仕方を具体的に学べます。

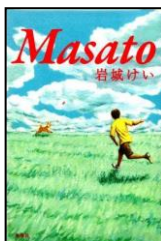
## ◆ワンダー

正しくあるより、親切であれ



R.J.パラシオ/作 中井はるの/訳 ほるぷ出版 2015.7 テコ J933-ハラ 1111080167

オーガストは普通の男の子。ただし、顔以外は…。その顔を見て驚き、避ける同級生。一方で、楽しい性格のオーガストと仲良くなる子も増えてくるのだが…。顔に先天的な障害がある少年が、初めて学校に通うことになった1年間の物語。物語は周囲の人々の視点からも語られ、友情や勇気、親切って何だろう?と考えさせられます。



## ◆Masato

異文化コミュニケーションと自己肯定

岩城けい/著 集英社 2015.9 テコ 913.6-イ7 1111106700

父親の海外赴任により家族でオーストラリアに住むことになった真人。現地の小学校に転入しても、英語ができずなかなか溶け込めなかったが、サッカーをきっかけに徐々に居場所をつかんでいく。しかし、一人馴染めずにいる母親は次第に孤立して…。異言語・異文化の中での苦労や家族間の葛藤とともに真人の成長が描かれます。

## ◆月にハミング

ミステリアスな少女の謎



マイケル・モーパーゴ/作 杉田七重/訳 小学館 2015.8 テコ J933-モハ 1111089019

イギリス・シリー諸島の無人島で発見された少女ルーシーは、記憶をなくし話すこともできなくなっていた。優しい家族に保護されて穏やかに過ごしていたが、敵国のドイツ人ではないかと疑われた途端、少女と一家は迫害を受ける…。第一次大戦中の豪華客船ルシタニア号撃沈という史実を元にした戦争の悲劇と人間愛と再生の物語。

## <宇宙の成り立ちを考える>

2015年は、宇宙素粒子観測装置「スーパーカミオカンデ」でのニュートリノの研究で、梶田隆章さんがノーベル物理学賞を受賞!そして約100年前にアインシュタインが一般相対性理論に基づいてその存在を予言していた重力波。ブラックホール同士の合体によって生じた重力波を、アメリカの重力波検出器「LIGO」(ライゴ)が世界で初めて検出に成功(発表は2016年2月)等、快挙が続きました。日本でも2016年から大型低温重力波望遠鏡「KAGRA」(カグラ)による観測が始まる予定です。そんな宇宙と物理に関する本を、今年度ティーンズコーナーに入った本からご紹介します。

### ★『ニュートリノって何? 続・宇宙はこう考えられている』(ちくまプリマー新書)

(青野由利/著 筑摩書房 2016.2 テコ 429.6-アオ 1111179994)

最初は誰も信じてくれなかったという梶田さんの「ニュートリノ振動」説。あらゆるものをすり抜けてしまう不思議な性質を持つ素粒子で、太陽や大気、あるいは超新星爆発の時にも生じるニュートリノとその研究の歴史について、やさしく解説しています。

### ★『14歳からの宇宙論』(14歳の世渡り術)

(佐藤勝彦/著 益田ミリ/マンガ 河出書房新社 2015.10 テコ J443-サト 1111132700)

アインシュタインの宇宙モデル、ビックバン宇宙論、量子重力理論、暗黒エネルギー、超弦理論などを追いながら138億年の向こうへ…。100兆年後の宇宙はどんな姿になっているのでしょうか。

### ★『新・天文学入門 カラー版』(岩波ジュニア新書)

(嶺重慎、鈴木文二/編著 岩波書店 2015.6 テコ J440-シン 1111063934)

最新の研究成果を取り入れながら、惑星・恒星・銀河の成り立ちやなどについて美しいカラー図版とともに解説しています。

